

県都に向き合う 拠点都市づくりへ

～総合計画を礎に市民と共に築く奥州市～

―奥州市副県都構築構想を策定―

市はことし3月、奥州市副県都構築構想を策定しました。
これは、これまで市が掲げていた「副県都」について、その意味を明らかにし、奥州市が副県都であるための考え方や今後の進むべき方向について定めたものです。その内容についてお知らせします。

構築構想策定のねらい

市は昨年3月、市総合計画を策定し「歴史息づく健康文化都市 産業の力みなぎる副県都」をスローガンにまちづくりを進めています。この計画の基本計画には「各部門別計画」と「副県都をめざす戦略プロジェクト」があり「副県都をめざす戦略プロジェクト」としては『子育て環境ナンバーワンプロジェクト』『知識集積型都市・高度教育都市構築プロジェクト』『世界文化遺産を核とした文化交流・観光プロジェクト』があります。市は、それぞれのプロジェクトの達成と目指すべき都市像実現に向けて鋭意取り組んでいます。奥州市副県都構築構想は、副

県都構築のための戦略的な方向性、指針を表したものです。構想は、本市固有の強み・潜在的能力を生かした都市の活用を増進するための基本戦略を設定し、それに沿って将来にわたって持続可能な都市をつくるために策定されました。

副県都の定義と理念

市は、副県都の定義と理念を次のように定めました。

■定義

盛岡市を中心とする第一都市圏（県都）に対し、奥州市を中心とする第二都市圏（副県都）を形成すること

■理念

県都を追従する副県都を形成

するのではなく、県都に対座する活力に満ちた風格のある副県都を形成すること。また、産業経済、教育文化、行政機能などあらゆる面で県南広域圏の中心都市、東北の中心都市仙台市と北東北の拠点的城市盛岡市との中間拠点都市としての役割を担うこと

副県都構築のために

すべきこと

- ①総合計画に基づく各種施策の着実な推進
- ②本市の持つ誇れる固有の資源を最大限に生かすこと。また本市を取り巻くあらゆる環境要因から課題を把握して、その結果に基づき、副県都構築のための戦略を設定し、その

実現のための活動を実践すること

副県都構築のための戦略

〔戦略1〕拠点都市形成戦略

- 1 ブランド力確立のための戦略（風格ある都市を形成するための戦略）
- ①歴史、伝統、文化の重みのある風格都市づくり
- ②大学等高等教育機関の立地推進
- ③平泉町との合併をも視野に入れた連携
- ④ナショナルブランドを育む都市づくり
- 2 牽引力確立のための戦略（政治・経済・文化の中心的役割を担う都市を形成するための戦略）

〔戦略2〕市民力向上戦略

- 1 都市の将来性（創造）を生むための戦略（将来にわたって持続発展する都市を形成するための戦略）
- ①新たな都市文化の創造
- ②市民力創造の都市づくり
- ③ビジネスチャンスが生まれる都市づくり
- 2 都市の快適性を確保するための戦略（市民が快適な生活ができる都市を形成するための戦略）

副県都実現のための

今後の推進方法

構想に基づく具体的な取り組みについては、市長を本部長とする「副県都構築推進本部」で、副県都構築のための施策・事業を検討し推進します。また、市民参加型の各種取り組みについても積極的に支援します。

■問い合わせ＝本庁政策企画課 知識集積型都市推進室（内線417）

ご活用ください

奥州市産学共同研究推進事業補助金

市は、市総合計画の知識集積型都市・高度教育都市構築プロジェクトと副県都構築構想の拠点都市形成戦略を進める一環として、奥州市産学共同研究推進事業補助制度をつくりました。

この制度は、市内中小企業者やこれから起業を目指す人が、製品開発や技術の高度化を図るため、大学などの高等教育機関や試験研究機関との共同研究をする際、それらの機関に支払う経費の一部を支援するものです。

これにより市は、地域経済の活性化、産業構造の高度化が図られ、その結果、知識集積型都市、副県都の構築につながるものと期待しています。

この補助制度をもっと詳しく知りたい人や大学などとの共同研究を予定している人、自らの製品・技術などの課題解決のために大学などとの連携を考えている人は、お気軽に本庁政策企画課知識集積型都市推進室か市鑄物技術交流センターまで相談してください。

■問い合わせ＝市鑄物技術交流センター（☎8666）

活力に満ちた 風格のある都市を

目指して